

ユネスコ「一杯のスプーンプロジェクト」 街頭募金活動について

大分県ユネスコ協会連盟では、公益社団法人日本ユネスコ協会連盟が実施する識字教育支援「世界寺子屋運動」の活動拠点（アフガニスタン・カンボジア・ネパール・ミャンマー）における新型コロナウイルス感染症の感染予防活動の支援を目的として、県内の高校生を中心に募金活動を行いました。

1. 日 時 令和2年11月14日（土） 14:30～16:00
2. 場 所 大分駅北口（広報啓発空間）、セントポルタ中央町商店街
トキ八本店前
3. 参加者 県内高等学校の生徒62名、教員9名
（大分上野丘、大分舞鶴、爽風館（定時制）、鶴崎工業、臼杵、
明豊、大分東明、大分国際情報）
大分県ユネスコ協会連盟会員4名

一杯のスプーンプロジェクトについての説明



募金活動



集計作業



ご協力いただいた募金額

70,805円

全額を公益社団法人日本ユネスコ協会連盟に送付しました。

温かいご支援をありがとうございました！

参加者を前・後半の2グループに分ける・3か所の活動場所に分散させる、マスク・ビニール手袋を着用する、大きな声で呼びかけない（看板で呼びかける）など、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を実施した上で、募金活動を行いました。